

平成30年5月市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙A>

平判は、株主総会関連の動きは見られたものの、全体を押し上げるには至らず、前月に引き続き前年を下回った。（前年比97.8%）

巻取は、学参テキスト関連の仕事が、前年同様動きが良く、また大口の新規上場の目論見書の仕事もあり、前年を大幅に上回った。（前年比121.0%）

再生紙は、官公庁関連の予算縮小とネット化の動きも見られ、大口物件を中心に巻取・平判とも前年を大幅に下回った。

（前年比 再生紙平判95.7% 再生紙巻取77.9% 再生紙計88.2%）

（前年比 印刷用紙A 102.3%）

<A2コート>

平判は、生損保、金融関連、株主総会関連等で動きがあったものの、新規案件含め全体的な仕事量の減少により前年を下回った。

巻取は、生損保、株主総会関連、自動車、不動産関連で動きがあったものの、部数の減少等により前年を下回った。（前年比 平判97.5% 巻取92.7% 全体96.4%）

<A3コート>

株主総会関連、学習塾、不動産、量販店向けのチラシ等で動きがあったものの、小口案件含め仕事量の減少が大きく前年を下回った。

（前年比 平判85.7% 巻取100.3% 全体94.8%）

<ノーカーボン紙>

生損保はじめ官庁関連は目立った動きはなく、その他大口スポットも見られず巻取は前年を下回ったが、平判の小口案件の動きが活発で平判は前年並に推移した。

（前年比 平判101.6% 巻取96.9%）

<上質フォーム>

株主総会関連、金融関連の動きも見られたが、その他スポット等の動きも弱く前年を下回った。（前年比 97.9%）

<包装用紙>

特殊両更は、株式関係、役所向け封筒とブックカバー、自動車のフロアーマットの需要があり、昨年並みの動きとなった。（前年比 100.5%）

片艶晒は、金融関係の封筒用途と専門店向け手提袋用途で一部動きがあったが、全体を押し上げるには至らず、昨年を下回った。（前年比91.0%）

両更晒は、金融関係向け封筒と夏物衣料品の手提げ袋用途が好調で昨年を大きく上回った。  
（前年比115.8%）

色クラフトは、金融保険会社向け、通信会社、調査会社向け封筒で動きがあり、昨年を上回った。（前年比 104.7%）

純白ロールは、生花店の母の日需要やギフト包装紙用途で需要があり、昨年を大きく上回った。（前年比118.4%）包装紙全体でも、104.4%と昨年を上回った。

<板紙>

大型連休明けの町場の動きが低調の中、食品、冷夏菓子等は堅調に推移した。夏場に向かったPOP関連や化粧品等は一服感が見られたが、全体的には昨年並みであった。

（前年比99.7%）